

# ひとづくり 助成金 活用のすすめ

建設現場の  
担い手確保に向けて

# 人材こそが

# 企業と産業の未来を築く

建設産業における「ひとづくり」の支援を行い、  
もって人々が安全・安心・快適に暮らせる豊かな社会環境の実現に貢献する。



## 建設現場の担い手確保に取り組む 専門工事会社の皆様へ

建設業界の経営環境は建設投資が堅調なもの、働き方改革や資材価格高騰等課題も多く、中でも現場の担い手確保は避けて通れない、待ったなしの状況です。

そこで本法人は中小規模の専門工事会社や団体による現場の担い手確保の取り組みを後押しするために助成金を運営するとともに、他社のヒントになる好事例を紹介しています。

助成金と聞くと、手間の割には実が少ないものだと考え利用を躊躇される方もいるかもしれませんが、必要書類を簡素化し事務局のサポートも万全を期していますのでその心配には及びません。

本法人としましては少しでも多くの方々にこの助成金を知って活用していただき、現場の担い手確保の一助となることを願っています。皆様よりたくさんのご応募をお待ちしています。



理事長

小野 俊雄

## FACT [ これまでの実績 ]

### 助成企業の規模(2024年)

50人以下  
4社

51~100人  
2社

101~150人  
1社

151~200人  
1社

201~299人  
0社

### 設立

2020年4月

### 応募採択率(2020~2024年)

75.8%

### 応募書類作成者(2024年)

社長 部課長 総務担当   
3社 2社 3社

### 紹介事例

8件

### 助成件数(2020~2024年)

のべ  
46社 4団体

### 助成金額(2020~2024年)

総額  
約 4,200万円



📢 専門工事業PR助成金

01



自ら職人の新卒採用に乗り出し  
現場の担い手を確保！

みちのく興業株式会社

#新卒採用 #保護者向け情報発信 #実習用設備

内装仕上げ工事業を手掛けるみちのく興業株式会社。これまで職人の雇用を協力企業に任せていましたが、このご時世に規模が小さいところでは人材確保が難しいと判断し、自ら職人の新卒採用に乗り出し成果を上げています。学生や先生だけでなく、保護者への情報発信にも気を配り、また技能習得設備の整備により新人教育を強化しています。

地域との相互関係を築きながら  
展開するイメージアップ活動

株式会社日建総合建設

#地域共生 #社内活性化 #ダイバーシティ

株式会社日建総合建設のイメージアップ活動は地域の皆さんと共に展開されています。マスコットキャラクターは地元高校生に、工事看板は地元の障がい者アート作家にデザインを依頼するといった具合です。社内活性化にも繋がるので社員のアイデアは良いと思えばすぐに採用するようにしています。

02



地元芸大生とともに作り上げた  
ロゴマークとユニフォーム

株式会社三瓶工業

#産学協同 #リブランディング #社内活性化

株式会社三瓶工業は創立50周年記念事業としてロゴマークの制作とユニフォームや業務用車両への展開を行いました。デザインは業者ではなく地元の東北芸術工科大学に依頼しました。デザイン決定には全社員による二段階投票を採用したところ社内は大いに盛り上がり、風通しが良くなる効果もあったそうです。

03



👤 若手建設技術社員・技能労働者育成助成金

01



若手の採用と定着のため  
教育体系を整備

株式会社扶桑工業

#採用専任者 #教育体系整備 #実習用設備

株式会社扶桑工業は職長の後継者育成のため若手の採用と定着に本気で取り組みました。これまでの採用活動を見直すと、応募者を増やすには「若手が自信をもって働ける環境があること」が何よりも重要であることに気づきました。教育体系を整備し、自社施設内に実習用設備を作って若手社員の成長を促しています。

教育・採用の専任者を置き  
人材育成に注力

金城電気工事株式会社

#教育・採用専任者 #新入社員フォローアップ #教育体系整備

金城電気工事株式会社は、新入社員の教育がその後の仕事に対する姿勢に大きく影響するだけでなく本人の人生にまで及ぶと、その重大性を鑑みて初めて教育・採用専任者を置くことにしました。特に新入社員のフォローアップには力を入れ、毎月、会社幹部や教育・採用専任者との面談を設けて若手の声に耳を傾けています。

02



全社を挙げて  
若手社員教育の内製化を推進

株式会社小鍛冶組

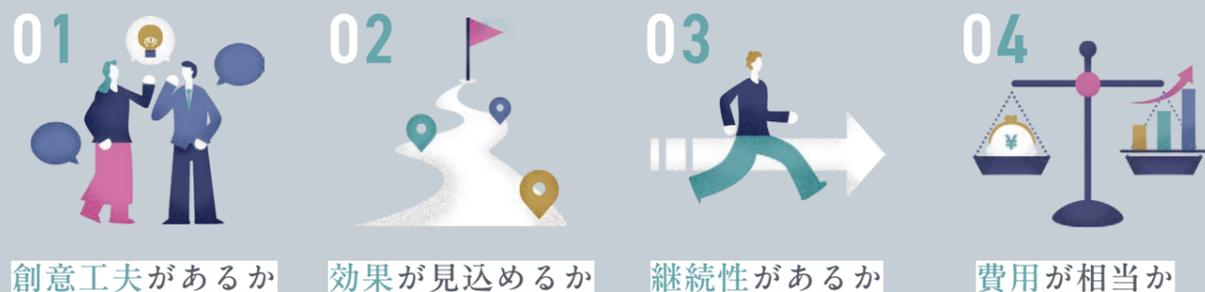
#教育体系整備 #内製化 #年間スケジュールリング

株式会社小鍛冶組は「ものづくりには教育機関が必要だ」と考え、「小鍛冶組アカデミー」と名付けた人材育成制度を確立しています。教育は人生設計を考えさせる内容にしています。それによりいつまでにこうなるという達成目標が明確になるので学習意欲が高まり、自ずと成果も上がります。

03



## CRITERION [ 選考基準 ]



01 創意工夫があるか

02 効果が見込めるか

03 継続性があるか

04 費用が相当か

選考は有識者を含む選考委員会が選考基準(上記参照)に基づき書類選考で行い、理事会で決定します。「創意工夫があるか」では応募会社においてよく練られた内容であるか、「効果が見込めるか」では目標が明確で達成に必要な過程が示さ

れているか、「継続性があるか」では一過性に終わらない仕組みができていないか、「費用が相当か」では費用見込額が適切で効果に見合うかを評価します。これらの点について応募書類に漏れなく記入してください。

## VOICE [ 利用者の声 ]



株式会社金堀重機  
代表取締役社長  
春田 一真 氏

人材確保の方策として取り組んだユニフォーム刷新に助成金を活用しました。企業理念等の意味を込めてワッペンやプリント文字を新たにデザインし、オリジナルに仕立てました。当初、社内の反応は今一つでしたが、出来上がったからはみんな喜んでくれるし、採用でも若者からカッコいいと評判でやった甲斐がありました！

動画を含む採用サイトを自社で制作し、母集団形成からオンライン説明会、そして若手社員との対面座談会という採用スキームを作り上げました。本来多額となる初期費用が助成金の活用により大幅に抑えることができ、その後の改善費用に回すことができました。



株式会社ダイニチ  
取締役副社長  
赤山 香織 氏

老若男女問わずみなさまから親しみを持ってもらえる方法でPRをしたいと思い、絵本作りを提案しました。助成金のおかげで、完成のクオリティを追求することができるようになり、より広くより長く発信できる理想の絵本となりました。応募時のサポートもあり、感謝しています。



城東開発株式会社  
広報マーケティング部  
武田 里桜 氏

## APPLICATION GUIDELINE [ 募集要項 ]

### ■ 種類

専門工事業PR助成金 建設産業の担い手を確保するために行う広報活動に対する助成

若手建設技術社員・技能労働者育成助成金 建設技術社員や技能労働者の若手育成・定着を図る活動に対する助成

助成金額：上限 100 万円/件、件数 各 5 件程度

### ■ 手順

STEP

01



応募

4~7月、応募書類をメールで送付してください。

STEP

02



選考

8~9月中旬、有識者を含む選考委員会が書類選考を行い、理事会で決定します。

STEP

03



採否通知

9月下旬、事務局よりメールでお知らせします。

STEP

04



活動報告

活動終了後すみやかに活動報告書類をメールで提出してください。

STEP

05



助成金受取

活動報告書類の提出完了後1か月以内に助成金をお振り込みします。

※日程は変更することがありますので、必ず募集要項(ウェブサイトに掲載)で確認してください。

### ■ 応募条件

01 専門工事会社を対象にしています。

02 社員数300人以上の法人や大企業の子会社等は対象になりません。

03 終了した活動は対象になりません。

※詳細は募集要項(ウェブサイトに掲載)で確認してください。

### ■ 問い合わせ先

一般財団法人 安藤ハザマひとづくり財団

TEL : 03-6381-5100

E-mail : info@ad-hzm-zaidan.or.jp

安藤ハザマひとづくり財団

検索

<https://www.ad-hzm-zaidan.or.jp/>



事前相談も  
大歓迎です！



事務局 武藤